



# 2020年3月期 第3四半期

## ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証一部：6544)



2020年2月7日

**1**

**2020年3月期 第3四半期決算概要**

**2**

**2020年3月期 連結業績予想**



# 2020年3月期 第3四半期決算概要

# 2020年3月期第3四半期決算概要(業績)

(百万円)

	2019年3月期 3Q		2020年3月期 3Q		前期比(%)
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	
売上高	<u>12,823</u>	100.0	<u>15,732</u>	100.0	122.7
原価	8,152	63.6	9,968	63.4	122.3
売上総利益	4,671	36.4	5,764	36.6	123.4
販管費	3,248	25.3	3,794	24.1	116.8
営業利益	<u>1,422</u>	11.1	<u>1,969</u>	12.5	138.4
営業外収益	18	0.1	14	0.1	75.9
営業外費用	46	0.4	26	0.2	56.9
経常利益	<u>1,395</u>	10.9	<u>1,957</u>	12.4	140.3
特別利益	8	0.1	0	0.0	5.3
特別損失	0	0.0	1	0.0	236.7
税金等調整前四半期純利益	1,402	10.9	1,956	12.4	139.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<u>867</u>	6.8	<u>1,201</u>	7.6	138.5

# 2020年3月期第3四半期決算概要(売上種類別)

(百万円)

	2019年3月期 3Q		2020年3月期 3Q		前期比(%)
	金額	構成比(%)	実績	構成比(%)	
保守・保全業務	9,976	77.8	11,126	70.7	111.5
リニューアル業務	2,806	21.9	4,085	26.0	145.5
その他	40	0.3	521	3.3	1,292.8
合計	<u>12,823</u>	100.0	<u>15,732</u>	100.0	122.7



# 2020年3月期 連結業績予想

# 2020年3月期連結業績予想

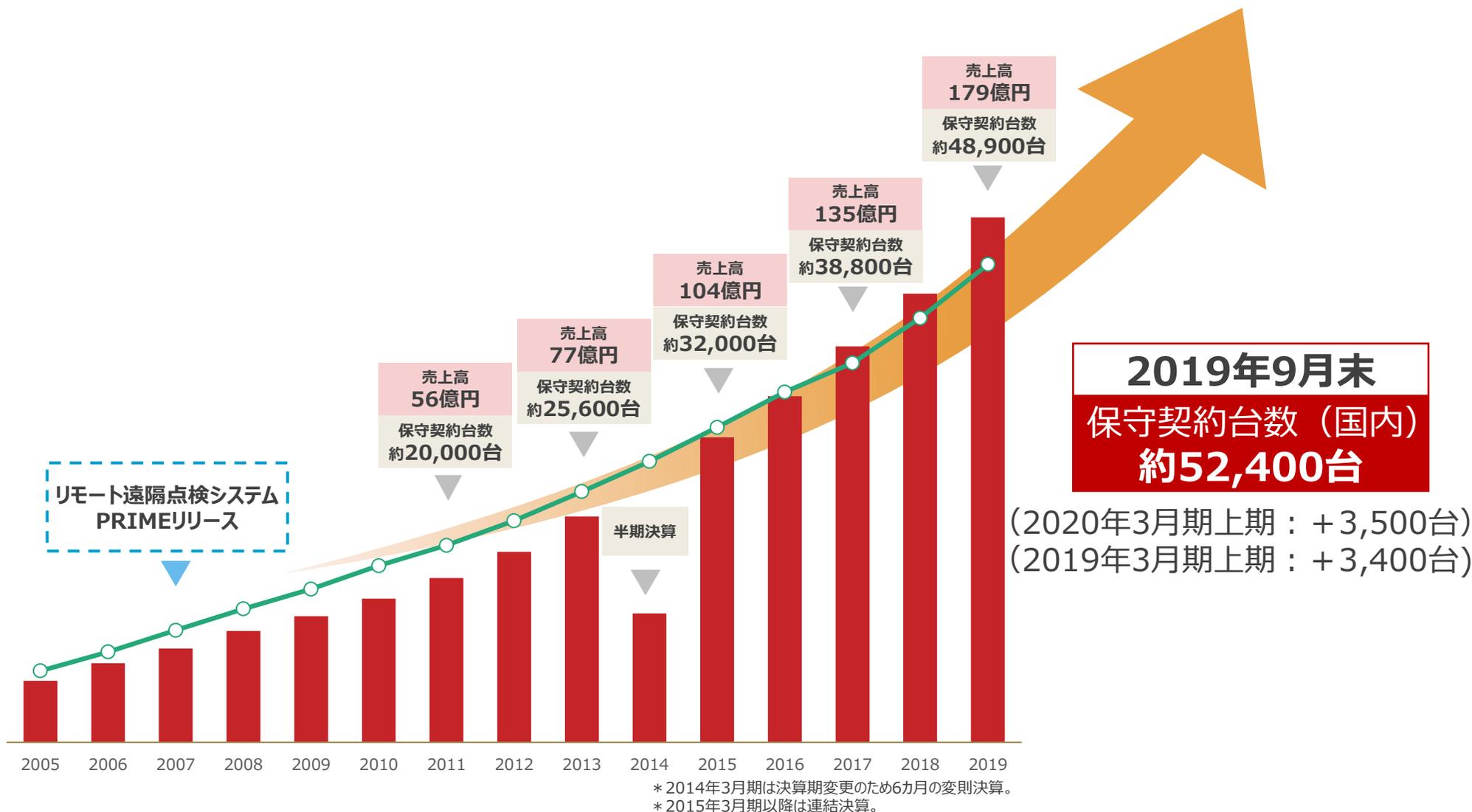
単 位 : 百 万 円 , %	上期				下期				通期			
	2019/3	2020/3 予想	2020/3 実績		2019/3	2020/3 当初予想	2020/3 修正予想		2019/3	2020/3 当初予想	2020/3 修正予想	
	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前期比
売上高	8,200	9,600	10,370	126.5	9,700	10,400	10,730	110.6	17,900	20,000	21,100	117.9
営業利益	772	950	1,210	156.7	1,262	1,350	1,390	110.1	2,034	2,300	2,600	127.8
経常利益	747	950	1,205	161.3	1,254	1,350	1,395	111.2	2,001	2,300	2,600	129.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	450	530	728	161.6	815	820	832	102.1	1,265	1,350	1,560	123.3
	売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比	
売上総利益率	35.6	36.0	36.3		36.7	36.7	36.7		36.2	36.3	36.4	
販売管理費率	26.1	26.1	24.6		23.7	23.7	23.7		24.8	24.8	24.1	
営業利益率	9.4	9.9	11.7		13.0	13.0	13.0		11.4	11.5	12.3	
経常利益率	9.1	9.9	11.6		12.9	13.0	13.0		11.2	11.5	12.3	
当期純利益率	5.5	5.5	7.0		8.4	7.9	7.7		7.1	6.8	7.4	

# 2020年3月期連結業績予想(売上種別)

単位：百万円,%	上期			下期			通期		
	2019/3期	2020/3期実績		2019/3期	2020/3期予想		2019/3期	2020/3期予想	
	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前期比
保守・保全業務	6,480	7,320	113.0	7,056	7,653	108.5	13,536	14,973	110.6
リニューアル業務	1,698	2,710	159.6	2,611	2,736	104.8	4,309	5,446	126.4
その他	21	340	1,552.5	33	341	1,057.0	54	681	1,257.5
合計	8,200	10,370	126.5	9,700	10,730	110.6	17,900	21,100	117.9



# 参考資料



# [参考]配当の状況

	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	前期比
	実績	実績	予定	
年間配当額	14円 00銭	13円 00銭	<u>16円00銭</u>	+ 3円00銭
期末配当額	14円 00銭	11円 00銭	<u>16円00銭</u>	+ 5円00銭
記念配当額	—	2円 00銭	—	△2円00銭
配当金総額	280 百万円	523 百万円	<u>648百万円</u>	+ 124百万円
配当性向（連結）	33.1%	41.3%	41.5%	+ 0.2p
記念配当除く	33.1%	34.9%	41.5%	+ 6.6p
純資産配当率（連結）	11.5%	15.6%	14.6%	△1.0p

↑  
増配

↑  
前年比  
124%

# [参考]上期のトピックス = 保守契約台数の順調な増加 =

**2019年9月末**

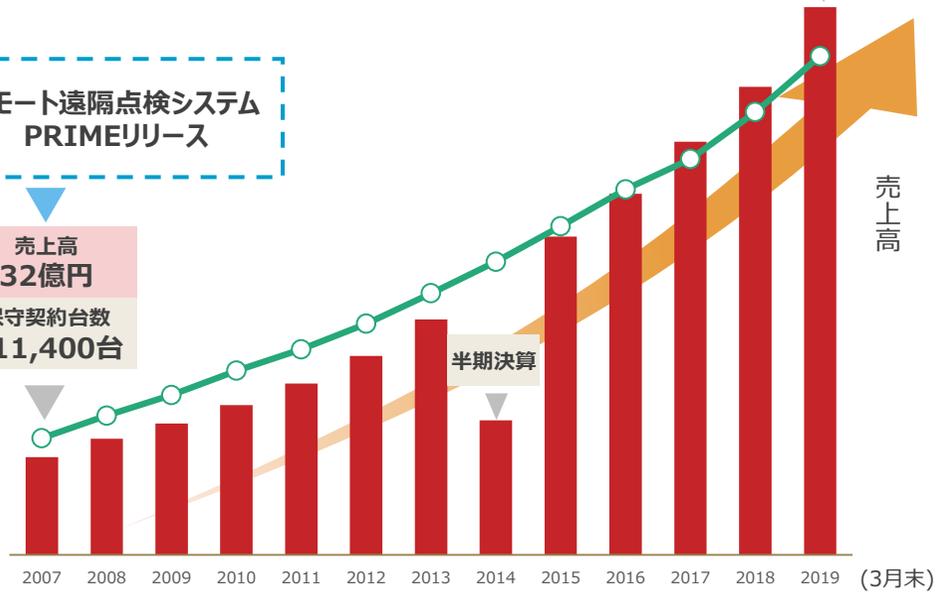
**保守契約台数 (国内)**  
**約52,400台**

(2020年3月期上期: +3,500台)  
(2019年3月期上期: +3,400台)

リモート遠隔点検システム  
PRIMEリリース

売上高  
32億円  
保守契約台数  
約11,400台

売上高  
179億円  
保守契約台数  
約48,900台



\* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。  
\* 2015年3月期以降は連結決算。

## 保守契約純増数

- 関西・東海・九州地区への注力
- 首都圏のシェアアップを図り、一層の生産性向上を図る

### <2020年3月期上期の新規開設拠点>

- ・4月
  - 京都営業所 (JES関西)
  - 四日市営業所 (JES東海)
  - ジャパンエレベーターサービス九州設立

- ・6月
  - 茨木営業所 (JES関西)
  - 西日本パーツセンター (JEP)

### <2020年3月期下期の新規開設拠点>

- ・11月
  - 松戸営業所 (JES城南)

## 一括リニューアル

○消費税増税前の駆け込み需要もあり、売上高は過去最高を更新

2018年3月期第2四半期：前年同期比 **136.1%**

2019年3月期第2四半期：前年同期比 **138.3%**

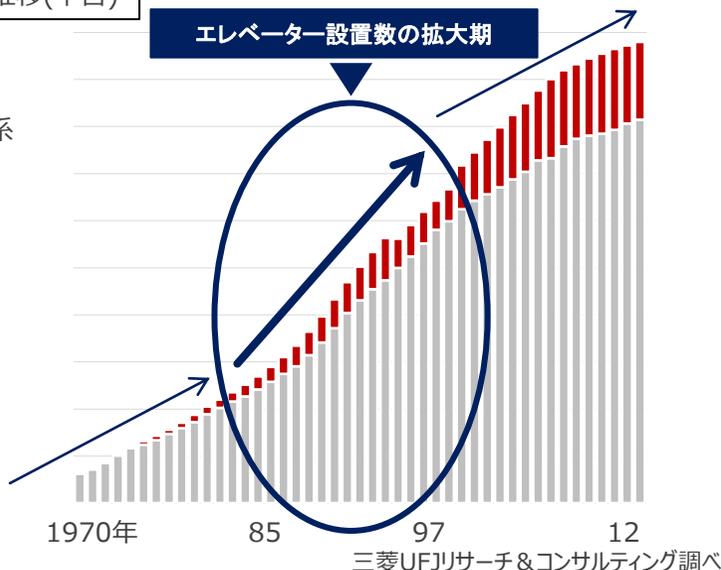
2020年3月期第2四半期：前年同期比 **159.6%**

○今後もリニューアルマーケットの拡大が見込まれる

⇒JIC完成により100台/月ペースと本格稼働に向けた準備を開始

国内エレベーター台数の推移(千台)

■ 独立系  
■ メーカー系



○(ご参考)日本経済新聞「エレベーター2020年問題」関連記事(2019年9月30日付)

## Quick Renewal

○今期も来るべき大量のリニューアルニーズに応えるため、Quick Renewal対応機種を増やし、リニューアルニーズの取り込みを図る

⇒2019年9月末対応機種：6機種

開発機種の世界規模

リリース時期	対象機種数	全国(推定) (台)
2019/3月期末	4	50,000
2020/3月期末予想	4	40,000
計	8	90,000

\* 2018年10月末の当社保守台数から推計

# [参考]上期のトピックス = LiftSPOT事業の強化 =

## 設置台数の強化

- 当社の保守事業に付加価値を与えると共に新たな収益源を育成する目的で「メディア事業」を立ちあげ
- 広告主への効果的なアプローチのため、設置台数の増強を図る
  - ⇒ 2019年9月末1,700台超を設置
  - ⇒ 早期に10,000台設置を目指す
- 2020年3月末目標設置台数：3,000台
  - ⇒ 2019年9月末時点の成約台数：約2,400台

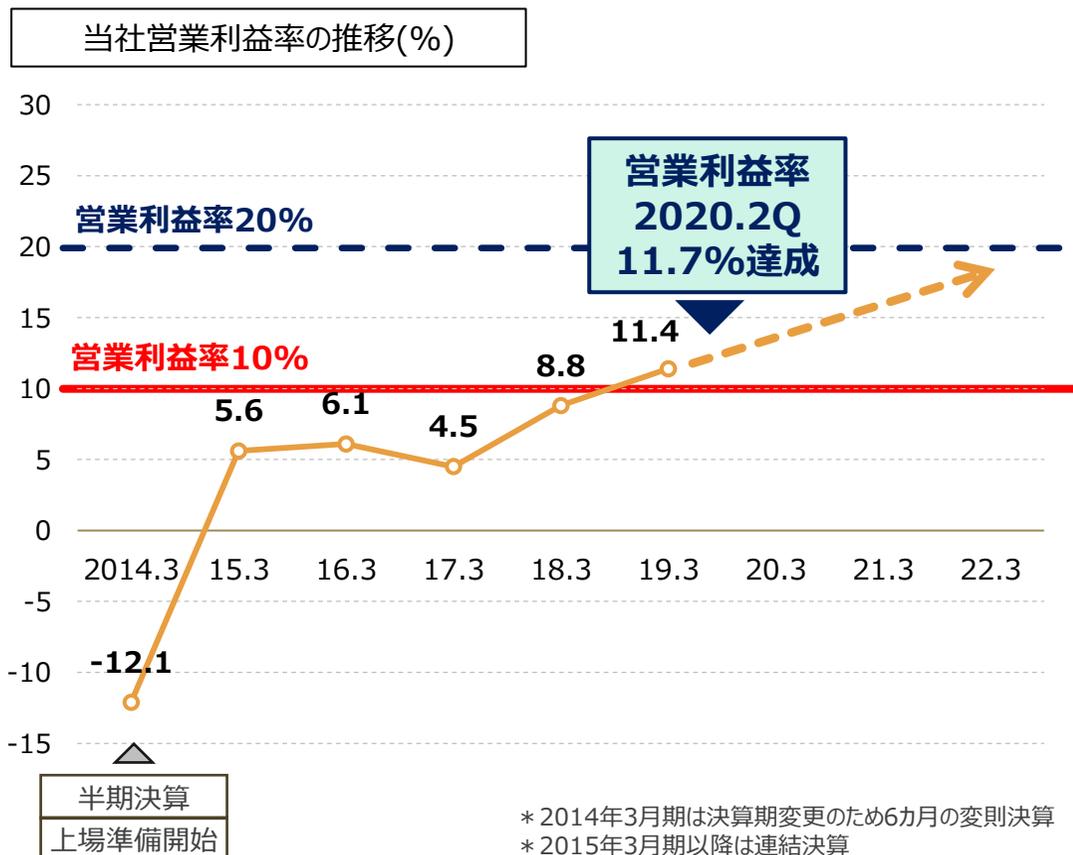


## 営業利益率

- 2020年3月期第2四半期に11.7%を達成  
⇒中期的には20%達成を目指す

## 利益率向上のための取り組み

1. 部品の海外調達強化  
(1) JICでの徹底的な検証  
(2) 優良部品メーカーの発掘と関係強化
2. リペア品の積極的投入
3. Quick Renewal強化による原価及び、  
リニューアル工事のための外注費削減
4. 生産性向上
5. 故障率の低下
6. 保守契約における収益性へのこだわり



## 目的

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| 1.Quick Renewalの開発スピードアップ | ⇒ 売上と利益率向上 |
| 2.海外調達部品の検査力強化            | ⇒ 利益率向上    |
| 3.パーツセンターの一層の強化           |            |
| (1)故障対応力強化                | ⇒ サービス力向上  |
| (2)協力会社への支援               | ⇒ 売上向上     |

## JIC新棟イメージ図

2020年10月竣工予定



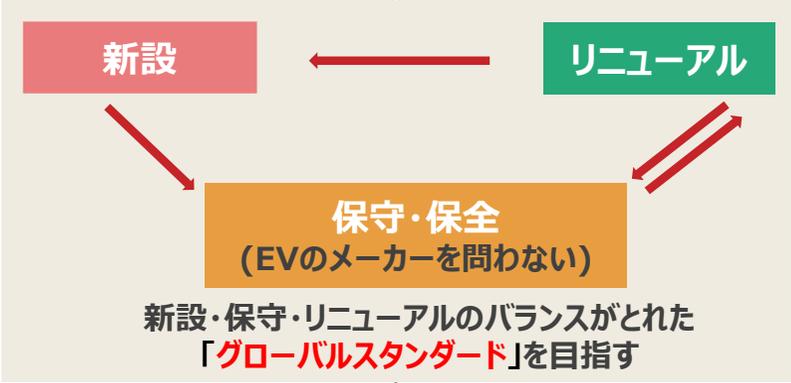
	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )	規模
JIC	4,923.61	5,603.73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3階建て</li> <li>・約50mのテストタワー1本</li> <li>・テスト用エレベーター4台</li> </ul>
JIC II 期	2,673.64	3,525.78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3階建て</li> <li>・約33mのテストタワー1本</li> <li>・テスト用エレベーター6台</li> </ul>

## 【ご参考】

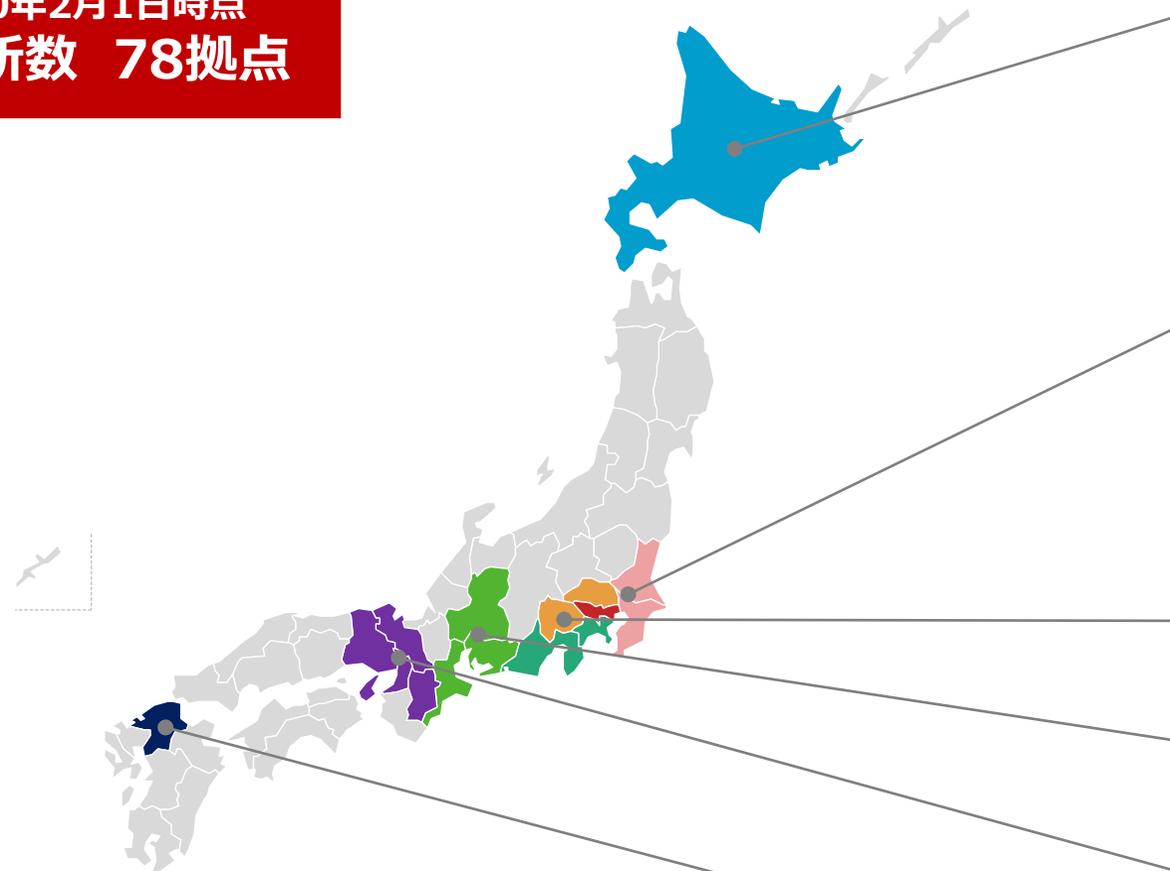
Quick Renewalと同様のコンセプトと考えられる商品のリリースが相次ぐ

- ・三菱電機ビルテクノサービス   Elemotion+[ZERO]
- ・東芝エレベータ                   時短リニューアル
- ・日本オーチス・エレベータ       ARISE MOD Live  
(アライズ・モッド・ライブ)

※他独立系は現時点で同様の商品はリリースしていない

事業	国内		海外	
	現在	中長期	現在	中長期
保守・保全	進出地域のシェアアップによる保守契約台数の着実な増強	メーカー系保守会社に匹敵する規模を目指す	インド市場を開拓	東南アジア圏にも進出
リニューアル (RN)	<p>一括RN → 市場拡大に応じて当社及び他社保守物件への対応強化</p> <p>Quick RN (分割RN) → 対応可能機種数増加</p>	顧客のニーズに合わせたきめ細かいRNサービスを提供	 <p>新設 ← Renewal</p> <p>↓ ↓</p> <p>保守・保全 (EVのメーカーを問わない)</p> <p>新設・保守・リニューアルのバランスがとれた「グローバルスタンダード」を目指す</p>	
新設	当面、国内での新設事業の計画無 (但しRNは実質的にはJES製のエレベーターの新設)			
新規 (メディア事業)	EVカゴ内でのメディア事業を立ち上げるとともに保守事業へのプラス効果も狙う (顔認識システムによるマーケティング支援機能も追加)		国内メディア事業の海外での展開も視野	

2020年2月1日時点  
営業所数 78拠点



**JES 北海道**  
営業所数：9拠点

**JES HD**  
営業所数：2拠点

**JES 城南**  
営業所数：16拠点 (+2)

**JES 城西**  
営業所数：14拠点

**ジャパンエレベーターパーツ**  
営業所数：8拠点 (+1)

**JES 神奈川**  
営業所数：16拠点

**JES 東海**  
営業所数：6拠点 (+1)

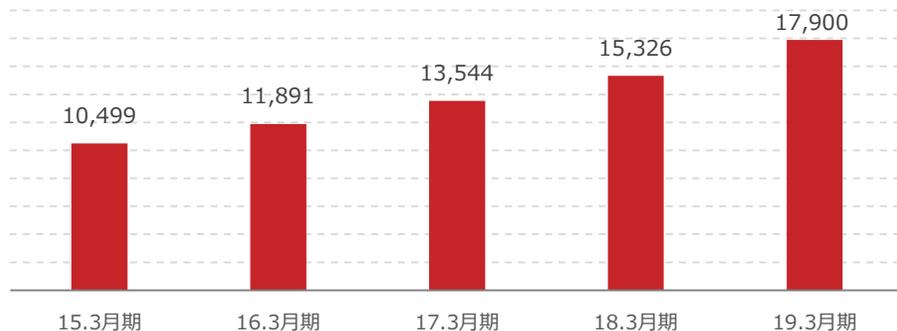
**JES 関西**  
営業所数：6拠点 (+2)

**JES 九州**  
営業所数：1拠点 (+1)

( ) 2019年3月末からの増減数

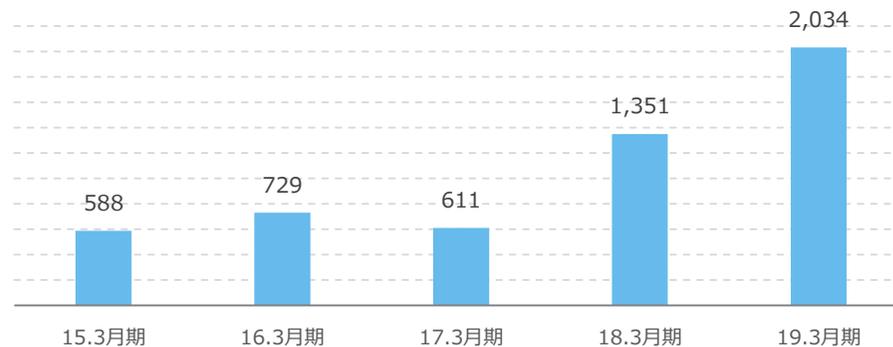
## 売上高

(百万円)



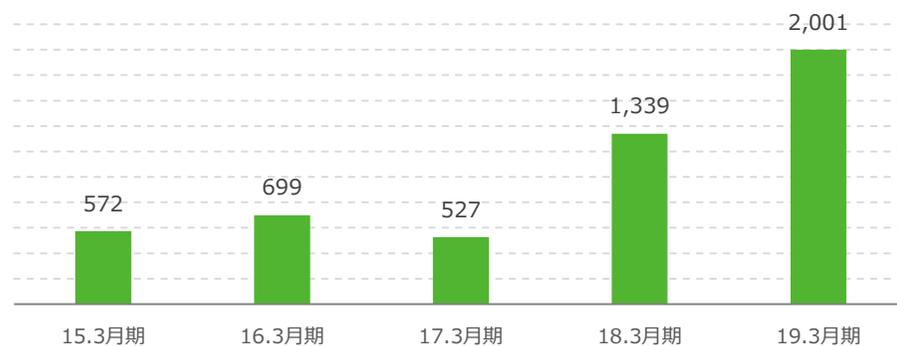
## 営業利益

(百万円)



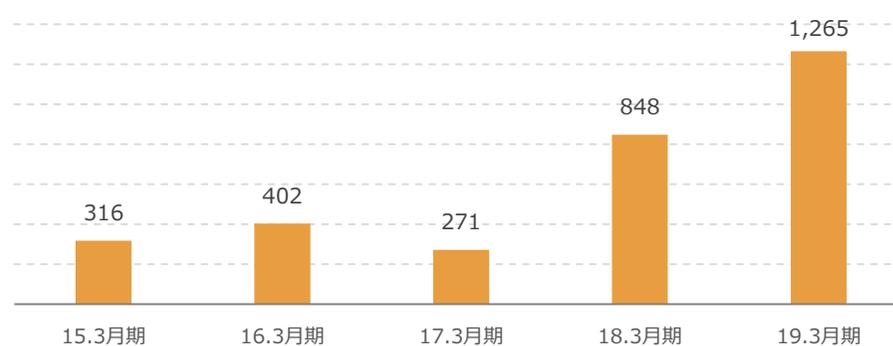
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

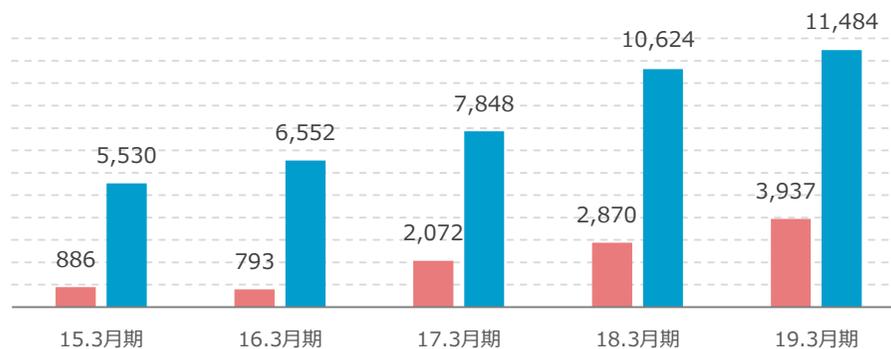


## 純資産額／総資産額

(百万円)

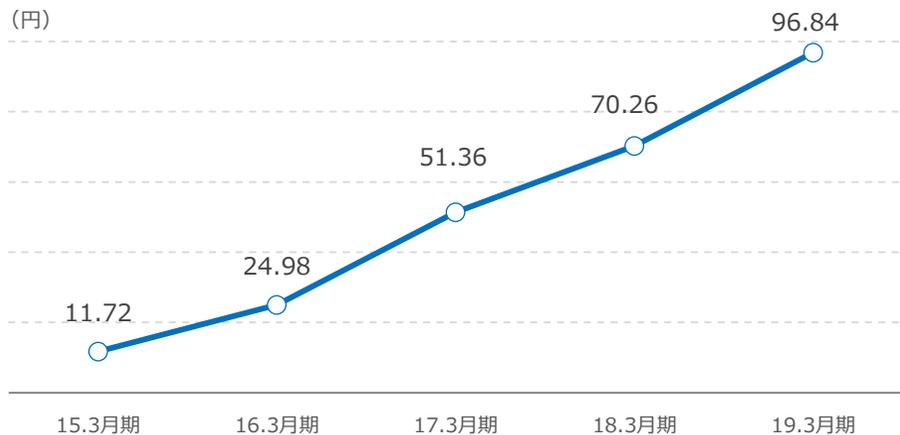
■ 純資産額

■ 総資産額



## 1株当たり純資産額

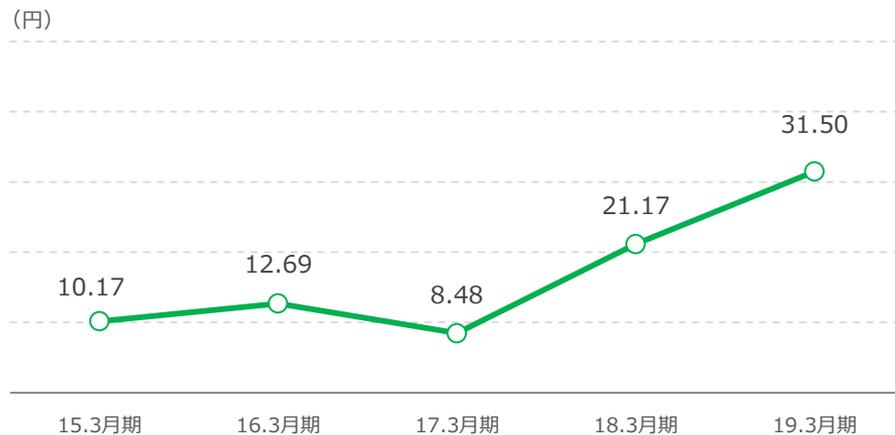
(円)



\* 1 : 2の株式分割 (2018年10月1日効力発生)

## 1株当たり当期純利益金額

(円)



\* 1 : 2の株式分割 (2018年10月1日効力発生)

## 免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。